

2016. 10

vol. 109

改訂版 vol. 39

女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番12号

岐阜県シンクタンク庁舎4階

〈電話〉(058) 215-9361 〈FAX〉(058) 215-9367



はじめに

女性副委員長 堀暁美

朝夕の冷え込みが秋の深まりを感じる今日この頃です。

女性委員会では、今知りたい事や学んで見たい事をタイムリーに、セミナーや見学会に取り込んでいます。そのため毎回皆様にご参加いただけ、そこで意見交換もでき、とても勉強になります。一つの製品また話題について、同じ女性の建築士でも様々な見方考え方があり、そういった意見を聞くことが私にとりまして視野が広がり、新たな発想が生まれる事につながると思います。

今後も色々な企画を予定しております。是非皆様のご意見いただきますようお願い申し上げます。



今回の記事

◇はじめに

◇今回の記事

◇今後の予定・お知らせ

◇研修会

「大名古屋ビルヂングハウジング・デザインセンター見学会」

日 時:平成28年5月26日(木)

◇建築士の日フェスティバル

日 時:平成28年6月25日(土)

◇東海北陸ブロック会 女性建築士協議会

平成28年度前期定例(愛知)会議

日 時:平成28年6月25日(土)

◇研修会「クローゼットの片づけセミナー」

日 時:平成28年7月14日(木)

◇平成28年度

第26回全国女性建築士連絡協議会(奈良)

日 時:平成28年7月22日(金)~23日(土)

◇研修会「相続税について」

日 時:平成28年9月8日(木)

◇たくみ女子会

日 時:平成28年9月16日(金)

◇編集後記



今後の予定・お知らせ

◆建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議

平成28年度後期定例(敦賀)会議

日 時:平成29年2月25日(土)~26日(日)

場 所:福井県敦賀市



研修会

「大名古屋ビルディングハウジング・デザインセンター見学会」

日時:平成 28 年 5 月 26 日(木)

日程:

AM11:15 名古屋駅 集合

<昼食&第1回委員会>

PM13:20 ビル前集合

13:30~14:00

10階 パモウナショールームにて見学・セミナー

14:00 住いの情報スペース見学

15:00 終了

場 所:大名古屋ビルディング
名古屋市中村区名駅 3-28-12

参加者:6名



(大名古屋ビルディング入り口にて)

■研修会「大名古屋ビルディングハウジング・デザインセンター見学会」に参加して

報告者:長瀬八州余

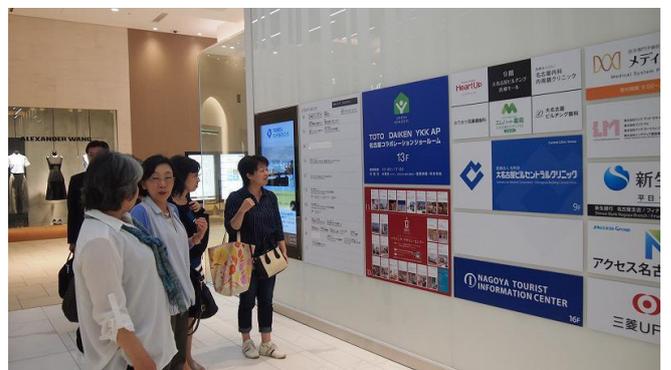
昼前に集合してお昼をいただきながら、第1回女性委員会を行い、その後研修会です。

2016年3月9日に OPEN した大名古屋ビルディングの10F、11Fにハウジングデザインセンターというフロアが出来たので、その見学会を行います。

低層階はショッピングゾーンでエスカレーターでは5階より上の階へ行くことができません。7F-15Fのエレベーターに乗らないと目的地までたどり着けません。何回か来ている人がいたので迷うことなく行くことができました。



(わかりにくいですが上階へ行くエレベーターの矢印があります。)



(エレベーターホールに説明の看板が出ています。)

平成25年10月31日に「家具のパモウナ」家具製作工場見学会にて工場見学をしました。そのメーカーが、ショールームを開いているということで、事前に予約を入れて、商品の説明を聞きました。



(パモウナの係の方より説明を受ける)



(パモウナショールーム見学の様子)

工場見学はそれなりに楽しかったのですが、商品を前にして詳しい説明を受けると良くわかります。私はキッチンメーカーへ行ってサイドボードなどの説明を受けている時、おざなりでしたが、今回ちゃんと説明を聞いて、家具メーカーはいろいろと考えているのだなあと思いました。

家具の扉を開けて、脚立が入っていたのにはビックリしました。



(赤く見えるのが脚立、白く見えるのは椅子です。)

奥行き400の食器戸棚がリストにあり、事務所等の給湯室に使いそうで施主に提案してみたいという話も出ました。

テーブルやソファも新しく展開していくことでした。(説明を受けている時のテーブルはL=2,000の物です。3名並んで座れます。)

住まいの情報スペースを見学しました。

「ウッドワン」は広い面積のショールームでした。テレビドラマとタイアップして内装の提供をしているとの話を聞きました。「デザインウォール」という新製品が展示してありました。価格が高いのですが、部分的に使うとおもしろいかなあと思いました。



(カウンターの腰板が「デザインウォール」です。この広さで10万円以上です。)

その他いろいろなメーカーがショールームを出しています。楽しい空間でした。

建築士の日フェスティバル

日 時:平成28年6月25日(土)
10:00~18:00
開催会場:マーサ21
岐阜市正木中 1-2-1 TEL058-295-2222
参加者:7名

■建築士の日フェスティバル 2016

報告者 森崎麻充

6月25日(土)マーサ21で、毎年恒例となりました建築士の日フェスティバルが、開催されました。

女性委員会は、今回も「岐阜県建築士会」の名前の入った、ふわふわ風船プレゼントの担当です。

風船にヘリウムガスを入れて、台紙で口を止め、飾っていきます。そして、来場されたお子さんに、希望の色を聞いてお渡しするといった内容です。

色とりどりの風船に囲まれますと、作業する気持ちも明るくなります。

また、女性委員のチームワークは、ばっちりです、要領よく進んでいきました。

このふわふわ風船は大変好評で、600個用意しましたが、お昼過ぎには全ての配布が終了しました。

今年もスムーズに、女性委員会のブースを終えることが出来ました。これも、ご参加、ご協力頂きました委員の皆さんのおかげです。ありがとうございました。



(会場の様子。グリーン半被を着ている人は青年委員の人達です。オレンジ半被は女性委員です。)

東海北陸ブロック会

女性建築士協議会

平成28年度前期定例(愛知)会議

日 時:平成28年6月25日(土)
会 場:名古屋市 (公社)愛知建築士会 会議室
(住 所: 460-0008 愛知県名古屋市中区栄
2丁目10番19号 電話番号:052-201-2201)
参加者:2名



(会議の様子)

■会議内容

日時:平成28年6月25日(土)
PM1:00 ~ 3:30

報告事項:

- ①各県女性委員会今年度活動計画
- ②連合会女性委員会の報告
- ③東海北陸ブロック会の報告
- ④青年建築士協議会の報告

審議事項:

- ①平成27年度後期定例(愛知)会議議事録承認の件
- ②平成27年度事業報告承認の件
- ③平成27年度収支決算報告承認の件
- ④平成28年度女性建築士協議会役員(承認済み)
- ⑤平成28年度事業計画(案)承認の件

⑥平成 28 年度収支予算(案)承認の件
協議事項:

- ①平成 28 年度ブロック大会の件(福井県)
- ②平成 28 年度ブロック事業の件
- ③女性建築士協議会運営について
- ④その他

■建築士会東海北陸ブロック会女性建築士協議会

平成 28 年度前期定例(愛知)会議に参加して

報告者:女性委員長 高野栄子

6 月 25 日土曜日に梅雨の真っ只中、名古屋市にて行われました、前期会議に参加してきました。愛知建築士会の会議室にて東海北陸各県から運営委員が集まり、昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、予算を話し合いました。

今年度は各県とも運営委員が変わられて、新しい顔ぶれでの会議となりました。各県の今年度の事業計画を説明して頂き特色ある活動などあり、とても参考になりました。

今年度から運営委員長と連合会への出向者が別々になり、それに伴いマニュアルが変更になりました。昨年度から静岡県的女性の方がブロック会議にオブザーバー参加されていますが、今回は都合が合わず見えませんでした。しかし今年度静岡県建築士会で女性委員会の設立準備委員会が立ち上がるそうなので、近い将来静岡県に女性委員会が出来るかもしれません。平成 31 年度に 30 周年事業を計画しているのでその内容について各県で持ち帰り次回後期会議までに意見を出すことになりました。

次回後期ブロック会議は平成 29 年 2 月 25 日(土) 26 日(日)福井県敦賀市にて開催されます。原子力発電所の見学など多彩な分科会が計画されており、普段一般では入れない所に入れるそうです。興味のある方は是非ご参加ください。



「クローゼットの片づけセミナー」

日 時:平成28年7月14日(木) 13:30~15:00
会 場:みんなの森 ぎふメディアコスモス
スタジオ C(あつまるスタジオ)
(岐阜市司町)

参加者:13名

(女性委員10名、士会会員2名、一般1名)

講 師:マスターライフオーガナイザー
竹内靖子先生

竹内先生は今回で3回目の講習で復習をしながら、新しい事を学ぶ勉強会でした。



(講義の様子)

■「洋服選びが楽になるクローゼット整理」

報告者:小林教子

アメリカ発祥の整理術「ライフオーガナイズ」による、楽に心地よく暮らせる仕組みづくりについてお話をしていただいた。(整理術講座 第3回目)

部屋が片付くと穏やかに暮らせ、家族関係やコミュニケーションの改善ができる。子供たちにはそれが生きていくちからとなりうる。等

散らかりにくい仕組み作りは順番が大切であり、収納用品の選定は最後。

- ① 自分を知る(思考の整理)…理想の暮らし、価値観、優先順位
- ② モノの見直し(分ける)…自分の基準を確認

- ③ 定位置、収納方法…自分に合った位置、収納方法(暮らし方、利き脳)
- ④ 維持…習慣化する(3~4週頑張れば習慣となる)
- ⑤ 掃除

1. 現状と理想のクローゼット

・困りごとをピックアップ

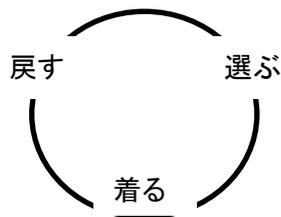
例えば 洋服はたくさんあるのに、着たい衣服がない、見つからない

似たような服が多い(色形)

何年も来ていない服がある(サイズが合わなくなった、もったいなくて処分できない)

着替える場所と収納場所が一致しない 等

・理想をイメージする 楽にできる仕組み



- 出し入れしやすい
- 一目で何があるかわかる
- 選びやすい
- 戻しやすい
- ワクワクする 等

片付けは目的ではなく理想の暮らしを笑顔で暮らすための手段である

・洋服を選ぶ基準を考える…自分の価値基準(自分軸)で選ぶ

洋服はその人を表す 洋服と自分が見られたいイメージは一致するか?

今のライフスタイルに合っているか

手放すときは 迷ったとき例えば一度着て鏡の前で確認するのもよい(ときめく?)

2. 自分にあつたクローゼットづくり

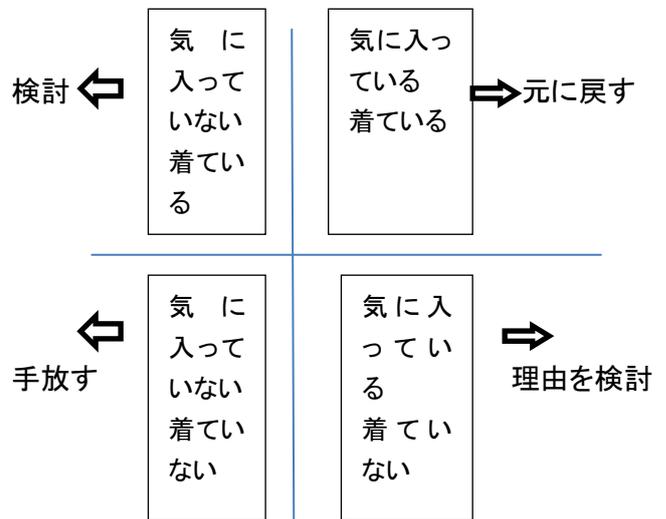
・クローゼットの収納量は80%が適量

・分けると分かる…現状認識

減らす=分ける 所有する全部の洋服を出し俯瞰する

全部が無理なら 季節ごと、アイテムごとなどやり易い方法で

分け方も自分に合った方法を選択



着る回数で分けるのも一案(シーズンでなん回着る?)

(ブランディア調査)年齢が上がるほど持っているものが増える

70%は使用していない(買取価格平均13万円)

(パレットの法則)日常の8割は2割がまかなっている

即ち クローゼットも今の洋服の量2割で賄える(除くフォーマル)

不要なモノをリサイクル

他の人に譲る

- リサイクルショップ フリーマーケット バザー
- 古着 de ワクチン フクサポ ユニクロ
- キリオ・アピタ 等

3. 収納用品

・定位置(収納方法)

理論派…アイテム別

感覚派…色分け後アイテム別

吊るす派

たたむ派

一度着た洋服置き場 等

・Box(天馬 Fit、無印良品)

奥行: 押入用、クローゼット用

高さ: 洋服の種類に合わせるとよい

18, 24, 30cm

・クローゼットブランコ(簡易パイプ2段式)

・ハンガー…同じ物で向きを揃えると見栄え良く収納量アップ

優れたもの: スワハンガー(ドイツ) 2段型 等

・コーディネートポケット、ハンギングラック、バッグホルダー 等

まとめ

いい気分で過ごす為 住環境を整えよう
 参考にするとい文献紹介
 収納家具いらずの片付け百科事典
 吉井もと子 著
 主婦と生活社 発行



(講義の様子)



平成28年度

第26回全国女性建築士 連絡協議会 (奈良)

日時:平成28年7月22日(金)~23日(土)
 会場:奈良女子大学
 (奈良市北魚屋東町)
 奈良春日野国際フォーラム 豊
 (奈良県奈良市春日野町 101)
 参加者:4名

テーマ

未来へつなぐ住居環境づくり
 “日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見”

7月22, 23日に奈良市で今年度の全建女が開催されました。今年度は、「日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見」というテーマで各プログラムが開催されました。

今回は364名の参加者でした。

1日目は基調講演やパネルディスカッション、被災地の現状報告など盛り沢山で大変有意義な内容でした。2日目も各分会とともにエキスカッションが企画され大変お天気も良く暑い日でしたが、勉強になりました。



(会場前にて集合写真)

1日目 平成28年7月22日(金)

10:30~12:30 全国女性委員長(部会長)会議
 13:00~13:20 開会式
 13:20~14:20 基調講演

「日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見」
 講師 渡辺 光雄氏(岐阜大学名誉教授)

14:25~15:55 パネルディスカッション

「日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見」
 コーディネーター ・永井香織氏
 (建築士会連合会女性委員長)

パネラー

- ・渡辺 光雄氏(岐阜大学名誉教授)
 - ・湯川 直紀氏(ライフケア総合研究所代表取締役)
 - ・岡田 伸子氏(岡田建築設計事務所)
 - ・臼田 ゆかり氏(奈良女子大学生)
- 奈良県建築士会

16:05~17:25 被災地の現状報告

熊本県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県

18:30~20:00 交流会



(奈良女子大学 講堂の緞帳 卒業生の日本画家小倉遊亀氏の作品です。)



(講堂エントランスホール 受付の様子)



(奈良女子大 正門前にて 石川県女性委員の人と一緒に集合写真)



(奈良県女性委員のスタッフTシャツ)



(連合会女性委員長挨拶)

■委員長会議報告

報告者:高野栄子

1日目の午前中に委員長会議に参加しました。奈良女子大学内の国の登録有形文化財に登録されている「佐世保会館」という伝統的な建築物内で開催されました。

委員長会議では大会アピールの検討や、平成30年度の開催地の候補について話し合い、各県1分ずつ北海道から沖縄まで女性委員会の活動報告をしました。他府県の活動を聞きながら、岐阜でも出来ることがないか考え、これからの委員会活動の参考になりました。

最後に平成29年度 来年の全建女は東京で7月15日(土)16日(日)に開催されることが発表されて終了しました。興味のある方は是非予定しておいてください。



(全国委員長会議の様子)

■基調講演・パネルディスカッション報告

報告者:伊藤麻子

テーマ:「日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見」

講師: 岐阜大学名誉教授 渡辺 光雄先生

講師の渡辺先生は下川さんの恩師であるそうで、広い見識をやさしい語り口でお話される、印象的な講演でした。

この中で、畳の部屋がない住宅が増えていて、若い人の和室離れが進んでいるとご指摘されました。和

室はフレキシブルで、狭い日本の住宅事情に合っているともお話をされました。

この後のパネルディスカッションで奈良女子大の生徒さんが畳のある家に暮らしたことが無いと、でも海外留学した際床にじかに物を置いて作業したと話されていましたが、「和室が無くても生活スタイルは日本式」というのが今一般的なのだと感じました。

雑誌やTVでアパート住まいの若い家族の家庭が紹介されているのを見ると、床にじゅうたんかマット、テレビの前には座卓にソファ。というのが多く、床に座ってソファを背に座卓で食事し、テレビを見るのはソファで、という使い方ようです。小さい子、特に乳幼児がいて部屋も家具も限られていると一番これが良さそうに見えます。日本式の暮らしに洋風をミックスさせている…。でも、もっと良いアイデアが無いかな?と最近気になっていて、今回のお話でこの事をもっとよく考えなくてはと思い至りました。

渡辺先生は、「あなたたち女性建築士が頑張って考えて、良くしていかなければいけない」と言われ、勇気が湧いてきた次第です。



(基調講演の様子)



(パネルディスカッションの様子)

■「被災地の現状報告」

報告者: 下川 滝美

毎年恒例の被災地の現状報告ですが、今年は熊本県と茨城県が増えて5つの県からの報告がありました。

東北地方の報告は5年の月日が経ち着実に復興にむけて進んでいる様子や震災を経験した女性委員会が行っている継続した活動の様子を知ることができました。

茨城県は平成27年9月の関東・東北豪雨の報告でした。

鬼怒川が氾濫したことで起きた住宅の被害より復旧しやすい建物の建て方や仕様を提案するなど川とともに暮らす地域の災害に向き合う姿勢に感動しました。

最後は熊本県。まだまだ大変な状態ですが4名の方から現状をお聞きしました。

「クロスにひびが入っている」それだけの理由で避難生活をしている方がいる。

地震に対する恐怖と知識がないことからくる不安で自宅に住めない方がいて専門家の一言で安心して家に帰ることができる。被災直後から相談窓口を立ち上げて頑張っておられる建築士の方々に頭が下がる思いでした。また東北へボランティアに行ったことがきっかけで福島的女性部会との連携ができたなど毎年継続しているこの報告が意義のある物だと思いました。

「熊本まで観光で良いから来てください。来てくださるだけで、私たちは元気・勇気を頂けます。お待ちしております。」の言葉に10月に大分県である全国大会の時に少しでも近くまで行けたらと思いました。



(被災地報告の様子)

■ 交流会に参加して

報告者:長瀬八州余

奈良女子大学での講演等を終えて、交流会会場のホテル日航奈良に向かいます。岐阜県女性委員会はこのホテルが宿泊ホテルなので移動が楽でした。

立食で適度にテーブルに着いて、乾杯をしました。司会は奈良県女性委員会委員長の本保万貴子さんでした。

京都の女性委員の方が着物で参加していました。奈良県マスコットキャラクターせんとかんが登壇し会場を盛り上げて下さいました。

奈良県女性委員会委員長の本保万貴子さんが会員になっている「奈良の民話サロン」の方々が奈良の民話を披露して下さいました。

最後に奈良大会に協力して下さいました方々が舞台上がりました。ありがとうございました。



(「奈良の民話サロン」の方たちの朗読の様子)



(近畿ブロックの皆さんです。黒のTシャツを着て見える人が奈良県建築士会の人です。)



(会食の様子)

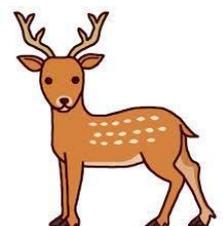


(せんとかん登場)

2日目 平成28年7月23日(土)



(二日目の会場 奈良春日野国際フォーラム麓前にて集合写真。奈良公園の中にあります。)



[分科会]

9:00～11:20

会場:奈良春日野国際フォーラム 薨 会議室 1～8

・A分科会「防災への取組み」

司会:島田 マリ子(福島)

コメンテーター:浦 絵美(神奈川)、東 二郎(神奈川)

・B分科会「エネルギーと暮らし」

司会 筒井 裕子(愛知)

コメンテーター:西田 教子(京都)、豊田 保之(京都)

・C分科会「歴史的建造物と建物再生」

司会:本保 万貴子(奈良)

コメンテーター:米村 博昭(奈良)

・D分科会「環境共生住宅～住み継ぐ～」

司会:磯中 幸江(山口)

コメンテーター:渡辺 陸(岡山)

・E分科会「景観まちづくり」

司会:荒木 由美(長崎)

コメンテーター:市川 一絵(石川)

・F分科会「子どもと住環境」

司会:熊谷 友子(岩手)

コメンテーター:松本あい子(群馬)永井美代子(群馬)三條秀子(群馬)

・G分科会「高齢社会と福祉住宅」

司会 東 道尾(北海道)

コメンテーター:内藤 恵子(愛知)、大前 高志(和歌山)

・H分科会「二地域居住の提案」

司会 鶴沢 香織(千葉)

コメンテーター:北村 洋子(長野)

…… 全体会会場へ移動 ……

11:20～11:45

[全体会]

11:45～12:20

会場:奈良春日野国際フォーラム 薨 能楽ホール

・分科会報告(3分×8分科会)

各分科会司会者

・全体総評(3分)

日本建築士会連合会女性副委員長 本間 恵美

・平成28年度全国女性建築士連絡協議会アピール(3分)

日本建築士会連合会女性委員長 永井 香織

・全国大会大分大会参加のご案内(3分)

大分県建築士会

・閉会の辞

日本建築士会連合会女性副委員長 小野 全子

分科会 報告

■B分科会「エネルギーと暮らし」

報告者:伊藤麻子

今一番注目される話題。何かと言えば省エネ、エコ、が大切なコンテンツです。それ自体は大変良いことですが、省エネイコールエコではないし、健康的とか経済的というのとは違うので、なにが本当にいいのかわからなくなりますよね。

住宅の高断熱高気密は一つの選択肢ですが、答えのすべてではないと思っている私は、昔ながらの快適に暮らす知恵を現在に活かす方法を模索中です。というわけで、迷わずこの分科会に参加しました。

京都市では、「木の文化を大切にすま・京都」を推進しており、伝統的な京町屋の知恵と現代の環境技術を融合した京都型の環境配慮住宅「平成の京町屋」を普及、促進しています。今回の分科会では違った2つの発表があり、グループに分かれて意見交換が行われました。

発表1:小学生親子のための京町屋体験講座

京都府建築士会 西田 京子さん

夏暑くて冬が寒い京都で昔から暮らす人たちの快適に住む知恵を体験してもらう講座。打ち水、蚊帳吊、

怪談話、冷やしあめで、暑いなりに快適に過ごす知恵を伝える講座で、五感に訴えるプログラムが興味深く、高山の町屋でもぜひ行ってみたい内容でした。

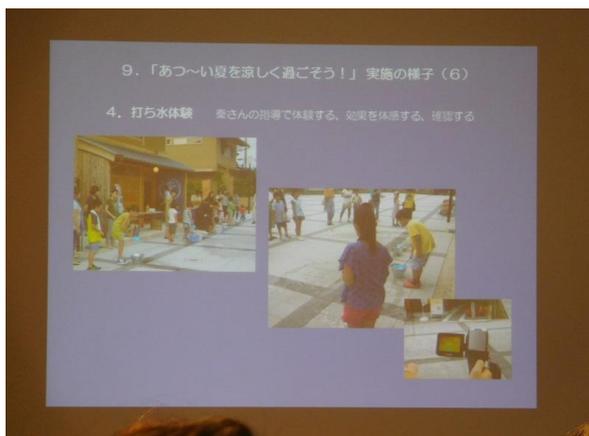
発表2:平成の京町屋認定住宅

京都府建築士会 豊田 保之さん

次世代省エネ基準に適合させた土壁+断熱材の住宅の設計手法を教えてくださいました。通風や採光のきめ細かいシミュレーションを行い、中庭、窓の位置を決定するなど、結果を可視化、数値化して評価されたのが驚きでした。ぜひここまでとはいかないかもしれませんが、実践できればと思いました。

グループに分かれての意見交換

全国から集まっているので、6人グループの中は北海道旭川から山口の方までいらっしやり、南北に長い日本の気候は様々であり、住宅の主に温熱環境だけでも認識の違いがあると言う事を改めて実感しました。



■C分科会「歴史的建造物と建物再生」の報告

報告者:長瀬八州余

C分科会は奈良県柏原市の今井町伝統的建造物群保存地区内の伝統的建築物である住まいを改修するにあたって、どのように町家の良さを生かし、弱点を克服してどのように進めていったかを、持ち主であり奈良県建築士会所属の米村博昭氏をコメンテーターに迎えて、奈良県女性委員会委員長の本保万貴子さんが司会で分科会は進められました。

例年よりも参加申し込み者が多く、71名の参加で、使用した部屋は大きい部屋でした。

コメンテーターの活動報告は、パワーポイントを使い、今井町の説明から始まりました。平成5年に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されましたが、町内での意識統一が大変だったということです。自分の物であっても勝手に触ることができにくくなるので、建物単体よりも保存地区となると住民全体の承認が必要になり、より一層認定までのハードルが高くなると思いました。

Y家町家は、平成25年(2013年)～平成27年(2015年)に改修作業が成されました。

改修の考え方として「町家の有している特性を理解し、その良さを維持発展し、一方で不便さを新たな技術でもって解消すること」として、まずは基礎調査として①現状調査②文化財調査・推定復元③所有権及び用途等の変遷調査を行い、改修方針をたて、基本設計を行い、限界耐力計算により不足とされた耐震性向上のために使い勝手を考えて耐力壁を適宜配慮し、省エネルギー化を図るため、屋根、天井、壁及び開口部を省エネルギー基準に基づいて施工する事となりました。床暖房を採用し、高性能グラスウールを使用し、開口部は複層ガラスサッシを使い現代の進んだ技術を取り入れました。外観は町並みに融合するように配慮しつつ、現代の技術により遮断熱性・気密性を向上させるよう省エネルギー改修が成されたわけです。施工後一年間の温湿度測定を行い、その結果穏やかな温度変化と高い調湿性が確認されたとのことでした。

伝統技術の継承として、柱脚部の虫食い等で腐朽の著しい部分は「根接ぎ」を行い新しい材料と交換したり、改修前には破損してサイディングや波板で隠されていた「虫籠窓」を復元したり、「三和土土間」の施工時には建築を学ぶ大学生を対象にした施工体験会を実施して継承がされる工夫もされたようです。

今井町伝統的建造物群保存地区、そして奈良県内の歴史的町並み地区における町家が次の世代に継承されるためには、伝統的構法を広げる社会システムの構築が必要と考える人達の集まりができ「奈良の町家を考える会」ができ、施工業者は、今井町地域の歴史的町並みの質の向上を図るために「今井町区域街環境整備協議会」を組織しています。地域全体で力を合わせようとしている事がうかがえました。

活動報告後、質疑応答と意見交換が行われました。一番苦労された点はなんですかという質問に、奈良県の特長事情なのですが、県下にはもっと古い物が多いので、100年200年の物には目がいかない。新しい、古いものの目線が他県と違うので保存しなくてはと思っても、もっと古物に目がいってしまう。しかし良い点は、保存技術を持った職人が身近にあり、素材も良い物があるので、話は早いです。

今回の費用はどれくらいかの質問には、約3,000万円かかり、そのうち補助金は500万円でその他の補助金で80万円ほどありましたとのことでした。

意見交換では、大阪建築士会の方の発言で、残して欲しい建物にいて、押しかけ見学会を開き、オーナーにその建物の価値を知ってもらい、できるだけ保存してもらう方向で検討してもらうように相談等に行っている活動をしているということでした。おもしろいアプローチだと思いました。

他にもいろいろありましたが、地域のコミュニケーターとの関係もあるのですが、これからは空き家対策をどうするのが新しい問題になってきているということでした。

お金の問題は昔からありましたが、さらに今、空き家対策の税金問題が出てきています。

各地域で皆さん頑張って活動している事を知ることができ、新しい見方を発見した分科会でした。



(C 分科会の様子)



(C 分科会に三井所会長が参加)

■E 分科会 「景観まちづくり」の報告

報告者: 高野栄子

E 分会に参加しました。テーマは「景観まちづくり」です。この分会会に参加するのは3回目ですが、毎回日本全国でさまざまな活動を報告されます。今回は石川県の七尾市で子ども達に町を知ってもらうことを目的とした活動を紹介されました。

石川県建築士会の市川さんが発表されました。発表のあと参加者が各自意見交換を行い中身の濃い充実した分会でした。



(E 分科会の様子)

■G 分科会 「高齢社会と福祉住宅」の報告

報告者: 下川 滝美

「高齢社会と福祉住宅」この分科会に参加して何年経つでしょうか？メンバーも常連さんが多くまるで同窓会ですね。と声をかけあうようになりました。

今年のコメンテーターは愛知県の内藤さんと和歌山県の大前さんです。認知症高齢者、高次脳機能障害の方の住まいの改修についての報告です。

認知症の方が住宅改修をすることで今までできなかったことが出来るようになった。生きがいを取り戻すことができた。

家族に支えられ地域で暮らすことの大切さを住環境の力で叶えることができる素晴らしい発表でした。本人や家族に寄り添い設計する姿勢の大切さを感じました。



(G 分科会の様子)



*** 分科会発表・閉会式 ***



(各分科会の発表の様子)

分科会の発表と閉会式は奈良春日国際フォーラム 萱内の能楽ホールで行われました。なんだか格調高い雰囲気です。

この二日間で熊本県への義援金が募られその進呈も行われました。



(義援金進呈式)



(閉会の挨拶 連合会女性委員長)

*** エキスカーション ***

…… 大人の修学旅行 ……

13:00～17:00 10コース(昼食付)

- 1コース 旧平城山街道散策(バスにて)
- 2コース 奈良公園散策(徒歩にて 約3キロ)
- 3コース 奈良町散策(タクシー+徒歩にて 約3キロ)
- 4コース 美術館への旅(バスにて)
- 5コース 古代を偲んで(バス+徒歩にて 2キロ)中止
- 6コース 庭園めぐり(徒歩にて 約2.5キロ)
- 7コース 宗教都市とランドスケープ(バスにて)
- 8コース 文明開化と戦国時代を偲んで(バスにて)中止
- 9コース 斑鳩の里めぐり(バスにて)
- 10コース 片桐石州と天平の甍(バスにて)

今回のエキスカーションは4名が2組に分かれて参加しました。

■大人の修学旅行 3コース「奈良町散策」

報告者:長瀬八州余

大人の修学旅行と銘打ってエキスカーションを10コース用意して下さいました。奈良県の女性委員の皆様ありがとうございました。

閉会式後、各コース毎に奈良春日野国際フォーラム玄関に集まり、移動となります。私たち岐阜県女性委員は2名ずつ2班に分かれ、高野さんと私は3コース「奈良町散策」に参加です。21名の参加で、玄関集合後、タクシーに分乗して昼食会場のサンルートホテル 日本料理おばなへ向かいます。

昼食時に向かい側に座った方は高知県と愛媛県の方々に委員会活動について話しているときに、夜の会合で飲み会をしますということをお話して下さいました。岐阜県女性委員会は食事会があっても飲み会はないなあと思いました。夜に集まることもないし。一度開催すると新しい人が集まるだろうかと高野さんと話しました。



3コースのサンルートホテル 日本料理おばなの「おばなランチ」です。

ご飯はちりめんご飯でした。美味しかったです。ごちそうさまでした。

昼食後、ここからは徒歩で回ります。

元興寺極楽坊

蘇我馬子が飛鳥に建立した、日本最古の本格的仏教寺院である法興寺がその前身である。法興寺は平城京遷都に伴って飛鳥から新都へ移転し、元興寺となった(ただし、飛鳥の法興寺も元の場所に残り、今日の飛鳥寺となっている)。奈良時代には近隣の東大寺、興福寺と並ぶ大寺院であったが、中世以降次第に衰退して、現在は元興寺と名乗る寺院は2つに分かれている。

奈良市中院町の元興寺は「古都奈良の文化財」の一部として、世界遺産にも登録されている。国宝・極楽堂—曼荼羅堂、禅室—僧坊、五重小塔などがある。



(元興寺 東門前にて)



(国宝の極楽堂)



(奈良県の女性委員さんより説明を受けている様子)



(係の女性の方より説明を受けています。)



(皆で歩いて移動します。)

今西家書院

今西家書院は永く興福寺大乘院家の坊官を務められた福智院氏の居宅を大正13年、今西家が譲り受けた建物です。昭和12年、国宝保存法により、京都の二条陣屋、大阪の吉村邸と共に民間所有の建造物として初めて国宝の指定を受けました。その後文化財保護法の施行に伴い、昭和25年、重要文化財となりました。室町時代における初期の書院造りの遺構です。



(玄関に向かいます。)



(庭から室内を見る)

十輪院

奈良県奈良市十輪院町にある真言宗醍醐派の寺院である。山号は雨宝山。本尊は石造の地蔵菩薩。開基(創立者)は朝野魚養と伝える。

この後最後の見学予定の奈良基督教会へ皆さんは向かうのですが、私たちは早めに帰るということでここでお別れです。町中でタクシーは捕まらないということで、事前にタクシーを呼んでいただき、奈良建築士会の方にはお世話になりました。本当にありがとうございました。

■10コース「片桐石州と天平の甍」

報告者: 下川滝美

10コースの修学旅行は乗合バスでした。

奈良県の女性委員会の方のガイドで市内の古い建物や新しい建物を説明してもらいながらの移動でした。

昼食は薬師寺近くの料理屋「たまゆら」で茶麴セットをいただきました。柿の葉寿司が3個。美味しく頂きました。その後目的地である「慈光院」へ向かいました。途中金魚の池や枡があり日本一の産地といわれたことを思い出しました。

慈光院は臨済宗大徳寺派のお寺で片桐石州が演出をしたと言われる300年以上前の建物です。

石州は茶人として名を残すとおりこの境内全体が茶席の風情になるように造られていました。

遠くに見える山までもが借景として計算されており雄大な景色を見ながらお茶を頂くことができました。

天平の壺の唐招提寺もコースにありましたが岐阜は帰りの時間の関係でここまでです。

奈良県建築士会の方のおもてなしに感謝して帰路につきました。

急ぎ足の今回の全建女でしたのでいつかまたゆっくりと訪れたいと思いました。



(乗り合いバスの中の様子)



(慈光院の庭)



(慈光院の内部)

研修会「相続税について」

日 時：平成28年9月8日(木) 13:30～15:00

会 場：みんなの森 ぎふメディアコスモス
スタジオ C(あつまるスタジオ)
(岐阜市司町40番地5)

参加者：11名

(女性委員8名、士会会員2名、一般1名)

講 師：税理士法人荒井会計総合事務所
所長税理士 荒井寿美子先生



(研修会の様子)

■ 研修会「相続税について」に参加して

報告者：堀暁美

9月8日(土)13:30分より ぎふメディアコスモスにて「相続税について」のセミナーを行いました。出席者11名で、そのうち建築士会男性会員さんが2名の参加でした。

事務所を開かれてから40年以上の女性税理士さんのお話は、今までの経験からくる実例も交えながら、大変わかりやすかったです。

セミナーの途中でも、いろいろな質問が出され、充実した勉強会となりました。

税金というと難しいイメージでしたが、今回のセミナーで興味が出てもっと学びたいという声も聞かれました。



たくみ女子会

日 時:平成28年9月16日(金)
13:30~15:00
会 場:(一社)岐阜県建築工業会 2階 会議室
岐阜県岐阜市藪田東1丁目3番5号
TEL:058-273-3401 FAX:058-273-8645
参 加 者:学生8名、女性技術者の方7名(内女性委員は2名)で全体では15人



(懇談の様子)

■「たくみ女子会」に参加して

報告者:高野栄子

9月16日(金)午後13時30分より(一社)岐阜県建築工業会2階「会議室」にて建設業界の女性活躍を応援する「たくみ女子会」が開催されました。

女性委員会より、宇佐美さんと高野が参加しました。

この会は岐阜県の県立国際たくみアカデミーが企画し、建築士会と建設業界団体などが協力して、今建設業で働く女性とこれから働きたい女性の交流会でした。

これから建設業界を希望する学生さんと、実際に今働いている女性の方がいろいろな話をしました。学生の方が夢を持って仕事ができるように、少しアドバイスが出来たかなと思いました。人生の先輩として、自分の経験談をお話しました。

彼女らが建設業界の新しい力になってくれるといいなと思いました。



(女性エンジニアからの活動報告
建設会社の現場監理の方が建設現場についてお話をされています。)



編集後記

39号をお届けします。
平成28年度前期の報告となっています。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。
また、編集参加、問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

公益社団法人 岐阜県建築士会
岐阜市藪田南5丁目14番地12号
岐阜県シンクタンク庁舎4階

TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

